



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センターニュース

理念

患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

基本方針

- 患者さんの権利と意思を尊重します。
- 安全で優しいチーム医療を提供します。
- 倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。
- 地域医療連携の促進を図ります。
- 骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。
- 職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。



骨吸収抑制薬の治療開始前に、口腔内の検診を受けましょう！

歯科口腔外科 吉武 桃子

近年、骨粗鬆症や悪性腫瘍（がん）の骨転移の治療に用いられる「骨吸収抑制薬」で、まれに顎骨壊死（がっこつえし）・顎骨骨髓炎（がっこつこつずいえん）が発生するという報告があります。

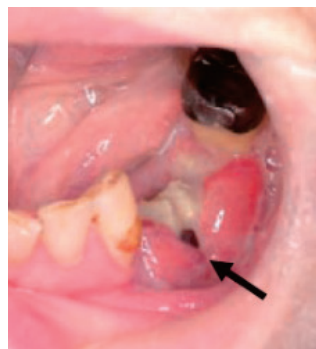
顎骨壊死とはあごの骨が壊死した（腐った）状態で、顎骨骨髓炎はむし歯や歯周病が進行し、口の中にもともと生息する細菌の感染があごの骨にまで及んだ状態です。無症状のこともあります。感染が悪化するとあごの痛み、腫れ、膿が出るなどの症状が出現します。骨吸収抑制薬投与による顎骨壊死・顎骨骨髓炎は単独でも生じますが、1）がんに対する化学療法、2）副腎皮質ステロイド薬の使用（全身投与）3）抜歯などの外科的な歯科処置後に発生しやすくなるとも報告されています。

顎骨壊死の発生頻度は、骨粗鬆症で治療を受けている患者さんの0.001～0.01%と必ずしも高くはありません。顎骨壊死を予防するためには、良好な口腔衛生状態を保つことが重要です。

顎骨壊死・顎骨骨髓炎の症状は？

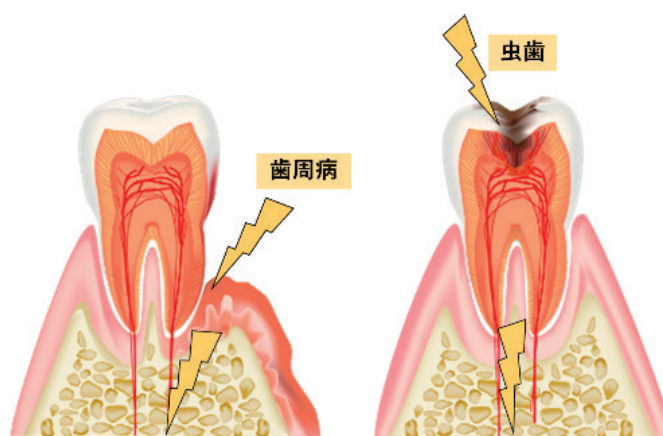
以下のような症状が見られたら、医師、歯科医師に相談しましょう！

- 口の中の痛み、特に抜歯した後の痛みがなかなかおさまらない、抜歯後の治りがよくない
- 歯ぐきに白色あるいは灰色のかたいものが出てきた（骨が露出してきた）
- 下くちびるがしびれてきた感じがする
- 歯がぐらぐらしてきて、自然に抜けた



骨吸収抑制薬は全身の骨に分布するのに、なぜあごの骨だけに合併症として壊死や骨髄炎が起こるのでしょうか？

理由の一つはあごの骨がさらされる環境の特殊性にあります。口腔内には、感染源として歯垢中に800種類以上、 $10^{11} \sim 10^{12}$ 個/cm³の常在菌が存在します。そして、歯はあごの骨を覆う歯肉を貫通して植立しているため、歯肉と歯の隙間もしくは根管内（歯の根）から直接、感染源があごの骨に到達してしまいます。つまり、歯周病やう蝕（虫歯）、歯髄炎、根尖病巣を介して、あご



の骨に炎症が波及しやすいのです。特に抜歯などの外科的処置を受けた場合、あごの骨はこの口腔と直接交通することになるので、口腔内の不衛生な環境が顎骨壊死の発症因子・増悪因子となるのです。

顎骨壊死・顎骨骨髄炎にとってもっとも大切なことは**予防**です！

① これから骨吸収抑制薬での治療を予定されている患者さん

- ☑ 治療開始前にかかりつけ歯科にて綿密な口腔内診査を行い、顎骨の感染の原因となる抜歯、歯周病や虫歯の治療、不適合な入れ歯の治療などは少なくとも治療開始の2週間前までに済ませておくことが大切です！
- ☑ ブラッシング（口腔清掃）指導や歯石の除去処置などの口腔内クリーニングも受けておきましょう。



② 骨吸収抑制薬の治療を受けている患者さん

- ☑ 骨吸収抑制薬の投与を受けていることを歯科医師にお伝えください。
- ☑ 定期的に歯科を受診し、歯ぐきの状態のチェックを受け、ブラッシング（口腔清掃）指導、歯石の除去処置、入れ歯の調整などを受けておくことが大切です。

☑ 骨吸収抑制薬治療中に抜歯が必要となった場合

は、主治医と相談し、原疾患の状態、内服期間やリスク因子（糖尿病やステロイド薬の内服など）の有無で休薬を検討し、抗菌薬の使用や消毒などの衛生管理をしっかりと行った上で抜歯を行います。



気軽に相談できるかかりつけの歯科医師を持ち、定期的な歯科検診・クリーニングを欠かさないようにしましょう。

骨吸収抑制薬 骨粗鬆症用製剤と悪性腫瘍用製剤*があります

・ビスフォスフォネート製剤：

内服薬（商品名：アレンドロン酸、フォサマック、ボナロン、ボンビバ、ダイドロネル、ボノテオ、ミノドロン酸、リカルボン、アクトネル、ベネット、リセドロン酸Na など）

注射薬（商品名：ボナロン、ボンビバ、リクラスト、ゾメタ*、ゾレンドロン酸*、アレディア、テイロック など）

・デノスマブ：（商品名：プラリア、ランマーク*）

・ロモソズマブ：（商品名：イベニティ）

* 骨粗鬆症の薬剤でもビタミンD製剤（商品名：アルファロール、エディロールなど）、エストロゲン製剤（商品名：エビスタ、ビビアントなど）、テリパラチド（商品名：テリボン・フォルテオ）の使用による顎骨壊死の報告はありません。

参考文献：骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の病態と管理：顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016
重篤副作用疾患別対応マニュアル 骨吸収抑制薬に関連する顎骨壊死・顎骨骨髓炎

【名医のいる病院2023】整形外科編 掲載情報

当院が【名医のいる病院2023】整形外科編に掲載されました。脊椎・脊髄疾患治療の名医として谷戸院長により村山医療センターが全6ページにわたり紹介されています。

他にも古川満 医長 による低侵襲手術や内視鏡手術の紹介。小林喜臣 医長 による「腰の痛みと疾患」の解説が掲載されました。脊椎脊髄疾患の名医の紹介には上記3名に加え許斐恒彦 医長も掲載されています。

冊子につきましては、外来待合室や地域医療連携室で閲覧できますので是非、ご一読ください。

「村山ならなんとかしてくれる」

村山医療センターは今後も、脊椎脊髄疾患における全国を代表する施設であり続けられるよう努力してまいります。

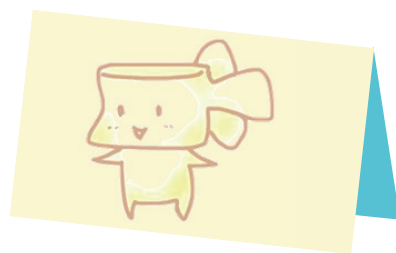
『看護の日』 イベント開催！

テーマ【骨粗鬆症の早期発見と骨折予防のために
～できることから始めてみよう～】

「看護の日」 ナイチンゲール生誕を記念したイベントを、5月14日（土）に開催しました。

当院では毎年病院を飛び出して「看護の日のイベント」を開催していましたが、この2～3年はコロナ禍でイベント開催は見送られてきました。今年はコロナウイルス感染状況がやや落ち着いている時期であったため、『骨粗鬆症』に着目し「**骨粗鬆症の早期発見と骨折予防について、今からできることは何か**」をテーマに、イベントを企画し開催しました。

「骨粗鬆症」は、40歳を過ぎると骨の量が減少して骨が弱くなり、骨折しやすくなる病気です。初期段階では自覚症状がほとんどないため、生活で困ることもほとんどありません。しかし症状が進行すると、『いつの間にか骨折』のように動けなくなることも少なくありません・・・。



「看護の日のイベント」当日はあいにくの雨模様でしたが、93名の方のご参加をいただきました。早朝からイベントを待ち望んでいた方にご来場いただき、地域の皆様に寄り添った形で実施できていたのではないかと改めて実感いたしました。

外来待合室を利用したイベント会場では、骨密度測定器を2台準備して密を避けるため、更にお待たせしないような工夫や対応をいたしました。

骨密度測定ブースでは、検査技師が転倒予防に留意しながら測定し、測定結果をカラー印刷で即時プリントアウトしました。プリントをお渡ししながら、骨粗鬆症マネージャーが結果のご説明をその場でいたしました。皆様から「すぐに詳しく結果の説明を受けられて良かった」とご感想をいただきました。

骨密度測定結果の説明・確認後には、骨粗鬆症の疑問や不安について、医師・骨粗鬆症マネージャーが直接お答えするブースへ積極的にご参加いただく姿も印象的でした。医師や骨粗鬆症マネージャーからは、骨密度の評価を説明し、自覚と予防の大切さを説明されていました。参加者の皆様の骨粗鬆症に関する意識の高さを感じました。





骨粗鬆症予防に大切なことは、バランスの良い食事と適度な運動です。栄養管理士による栄養相談ブースでは、骨粗鬆症予防に必要な栄養についての説明があり、食品サンプルを使っただけの具体的な説明も好評でした。参加者より、「骨を強くするための食事についてやメニュー等わからなかったことを沢山学べて良かったです」と笑顔で話されていたことがとても印象深かったです。

また骨を強くするためには、適度な運動が重要です。理学療法士による簡単な運動方法のレクチャーは安全を考慮して椅子に座りながらできる体操を中心に楽しく実施しました。参加していただいた皆様が、楽しんで体操を行ったり、骨折予防のための取り組みについて理解を深めていただきました。



お楽しみの一つとしてスタンプラリー形式とし、全てのブースを大勢の方に回って体験していただきました。参加者へは食品サンプルや手指衛生商品などすてきな景品を準備し、スタンプの数で景品をお持ち帰りいただきました。お子さんにも楽しんでイベント参加をしていただけたようです。





当院の骨粗鬆症マネージャーの活動も、コロナ禍で限られていましたが、今回のイベントを通して、地域の皆様に骨粗鬆症予防や注意点・日常生活の中でできる体操など直接お話しできる機会を持てたことは大きな励みとなりました。

日本は世界でもトップクラスの長寿国ですが、健康で自立した生活を送れる期間を表す「健康寿命」を伸ばすことへの関心が近年高まっています。骨は私たちの体や日常生活を支える大きな役割を持っています。骨を健康に保つために骨粗鬆症を予防して、「健康寿命」を伸ばしていきたいものです。

骨粗鬆症について、不安なことや疑問等がございましたら当院の骨粗鬆症外来の受診をお勧めします。



「感謝のメッセージ」をいただきました！

看護部長 前田 奈穂美

走り梅雨に濡れ、木々の緑が色鮮やかに感じられる5月25日、さらに心爽やかになる出来事がありました。

看護学生さんの臨地実習受け入れに対する当院への感謝として、東京医療保健大学立川看護学部の学生さん5名と教員2名の計7名でお越しいただき、学生さん手作りのメッセージボードを頂戴しました。

メッセージボードのかわいらしいカードには、「実習を受け入れていただき、ありがとうございました」「村山医療センターに実習に来て良かったです」などの言葉がたくさん書かれていました。花束をモチーフにしたデザインにメッセージが配置されており、1枚1枚楽しく拝見させていただきました。

2020年から新型コロナウイルスが蔓延し、臨地実習を断る施設が増えてきていました。しかし当院は、谷戸院長の「看護学生の実習は、将来の村山医療センターに就職してくれる大切な人材育成につながるので、可能な限り受け入れよう！」という号令の下、お断りすることなく対応してきました。他施設がお断りした学生さんまで急遽受け入れることもしました。さらには、ワクチン接種なども積極的に実施し、それらすべてを含めての感謝のメッセージボードになったようです。

当院は、東京医療保健大学だけでなくほかに3校の実習を受け入れています。教育課程の異なる学生さんの対応は難しいものがありますが、各部署心を込めた対応をしてくれています。これからも慢心することなく、看護基礎教育のお役に立てるように努めていきたいと思っております。



新型コロナウイルス抗スパイク蛋白抗体検査のご案内

スパイク蛋白抗体検査をお勧めする方

- ✓ ワクチン接種前や接種後に自分の抗体値を確認したい方
- ✓ ワクチン接種後に副反応がなく、本当にワクチンが効いているのか心配な方

このような疑問をお持ちの方、
抗体がどれくらいついているのか採血で確認できます。



検査費用

4,000円（消費税及び結果郵送代含む）

自費診療です。保険は適用されません。
お支払いには、現金または各種クレジットカードがご使用いただけます。

予約枠・予約方法

○予約枠 13:30~14:00

○オンライン予約または、お電話で受付しています。
（オンライン予約サイトURL）

<https://www.murayama-hosp.jp/vaccine/koutai.html>

（当院のホームページから予約サイトに入れます。）

予約等に関するお問い合わせ先

☎ 042-561-1221（代表）

平日 9:00~17:00

オンライン
予約サイト
QRコード



検査の流れ

- ① 予約をお取りください。
*ワクチン接種後、14日以上空けての検査を推奨しております。
- ② 予約日当日、医事課初診①窓口で受付をお願いします。
- ③ 採血を行います。（診療状況によりお待たせする場合がございます。）
- ④ 会計窓口④でお会計をお願いします。会計後、ご帰宅いただけます。
- ⑤ 結果は、1週間程度で指定の住所に送付いたします。

村山医療センターはパラリンピックを目指すパラアスリート「荒武優仁さん」を応援しています。脊髄損傷と戦う荒武さんのこれまでの軌跡を3号にわたり掲載いたしました。是非ご覧いただき、みなさまの記憶にとどめていただければと思います。

●●● パラリンピックを目指す荒武優仁さんその3

Walk Again! それでも再生医療に期待する



今回は、合同練習取材した。荒武さんは、注文した新しいラグ車(車いすラグビー用の車いす)であらわれた。かなり高額なお品物、ここでは値段は伏せておこう。

「他にお金を使うところがないので(笑)」
照れながら荒武さんは答える。

車いすラグビーに没頭しているので、他にはあまり関心がない、物欲があるわけではないから無駄遣いすることもない。しかし本音は、「お金を使いたい本当の目的がある、だから無駄遣いしない」なのだ。その意味は後で知ることになる。



● 来年の世界選手権に向けて始動

最高の状態で世界選手権を迎えるためには入念な準備、いわゆるピーキングが必要だ。ピーキングとは大切な大会や試合へ向けてコンディションを最高の状態にもっていきように調整することだ。オリンピック延期と2021年の開催、開催か中止かの議論が多く選手達のメンタルに影響したことは皆さんもご存知だろう。大会に向けての身体と精神のコンディション作りは簡単ではない。

荒武：身体のコンディション作りは面倒で、病院の助けも必要です。麻痺があるので排便、排尿は肛門科や泌尿器科。床ずれ(褥瘡)では皮膚科。練習や試合での故障、怪我は整形外科に、療法士さんの力も借ります。身体の不調を何とかするために、手術を視野に入れる選手もいます。

荒武さんは最近、スポーツに理解のある会社に転職した。競技生活を続けたい選手をサポートするアスリート採用だ。アスリート採用は、社員として籍を置きながらも、会社が競技に打ち込むことができる環境を用意してくれる。つまり練習時間を会社が与えてくれるというわけだ。そのかわり会社は、仕事だけではなく、スポーツでも成果を求める。荒武さんは、結果を出さなければならないというプレッシャーを感じている。しかし、それ以上に次の目標、世界選手権に燃えている。



荒武：実は手の麻痺の度合いが左右違います。右は握力10kg、左は2～3kg位で左がうまく使えません。元々右利きだったので、車いすラグビーでもパスは右手でさばっていました。でも右だけでは、限界があるので、今は左でもパスができるように練習しています。左手パス練習の成果には思わぬ恩恵があったようだ。

荒武：左手パス練習の成果ですが…実は日常生活で左手を使うようにしたところ、ちょっとした革命が。麻痺の強い左手にも仕事をさせたら、生活はかなり便利になりました。スプーンやフォーク

を左手で、ひげ剃りも左手を試しています。無意識に左手も使うようになることが増えました。荒武：左手パスの練習も、左手を生活に応用することも。自分が伸びることを実感しています。楽しいです！

常に新しい目標があらわれるようだ。自然と生まれ出てくる目標に挑戦する、挑戦の結果以上に挑戦していること自体を楽しんでいる。それが荒武さんの楽しいの正体のようだ。

●僕の家族、僕の結婚

今回の取材で今まで耳にしていなかった言葉を荒武さんの口から聞いた。

結婚。

サーカス団員時代から障害を負うまで、結婚を考えることはなかった。結婚という言葉が荒武さんの脳裏によぎるようになったのは、むしろ障害を負った後だった。

今、荒武さんは30歳。

障害者でも結婚し子育てに励む友人も増えた。結婚し子供を育てる、そんな光景にふれれば、結婚を意識するのは自然の成り行きだろう。色々とお聞きしていると、どうやら、かなりの子供好きのようだ。

荒武：砂場で（自分の）子供が遊んでいる、それを少し遠くから見つめている自分の姿に憧れますね。子供とキャッチボールもやってみたい。

子供と遊んでみたい、でも荒武さんは多くを望まない。子供と一緒に海で泳ぐ、旅行をする、そんな誰もが描く、ごく普通の希望に心のブレーキがかかっているかのようだ。どこまで子供につきあえるのか、どこまで子供と一緒に遊べるのか、その行き先はまだ見えない。

●知って欲しい 段差「5cm」という境界線

将来の家族像を思い描くようになったキッカケは一年ほど前に知り合った女性の存在が大きい。お互いが思いやり、お互いが知りを繰り返す一年だった。

さすがにパートナーの話は荒武さんにも照れがあるようだ。お相手の事も聞いてみたい気持ちはあるが、今は静かにお二人の今後に幸多きことを祈りたい。

パートナーに知ってもらいたいことは何でしょうか？

何気なく聞いた質問だ。朝食の目玉焼きは醤油派、そんなとりとめのない回答を少し期待していた。

荒武：段差です。

荒武さんとパートナー、そして家族との行動範囲を心配しているのだ。段差があれば、一緒に遊びに行くことはできない。

荒武：ご存知の通り、車いすです。一緒に遊びに行けない場所があります。例えば、アウトドア。キャンプ場の道は舗装されていません。道のでこぼこ、段差は車いすではどうしようもないのです。街での行動範囲も心配だ。



荒武：車いすでも舗装された道路なら、5cmまでの段差なら何とかあります。それ以上の段差は、行き止まりと同じです。進むことができないのです。

写真は5.7インチのスマートフォン、横幅を計ってみた。約8cmだった。5cm以上の段差は、道路だけではなく、ショッピングや食事を楽しむ商業施設や駐車場、街中いたるところにある。パートナーが「5cm」を理解していなかったらデートの待ち合わせさえ実現しないだろう。5cmを超える段差、それは誰かに助けを求めるか、諦めなければいけないのかの境界線だ。



● クラス分け、小さな回復でも願っている

この5年間、少しでも失われた身体の機能を取り戻そうと努力をしてきた。スポーツもした、リハビリも試みた、生活も工夫した。ご存知の方も多いだろうが車いすラグビーは障害の重さによってクラス分けされる。クラス分けのためにかなり細かく身体機能、分かりやすく言えばどの程度動かせるかが測定される。

クラス分けとは：障害は部位や程度によって身体の能力に差が出る。公平に競技を行うために同程度の障害のある選手同士で種目などを分けることを「クラス分け」と言う。クラス分けの規則は競技ごとに異なる。

荒武さんだけではない、身体の測定には選手の様々な感情が交錯する。言わないだけで、皆が身体機能の変化を期待している。

ちょっとは良くなっているじゃないか
少しの回復でもいい、少しでも動いて欲しい

口にできるわけがない、期待してはいけない、身体の機能に進展が見られなかった時、その気持ちはどこに捨てれば良いのだろうか。荒武さんの身体の機能は、障害直後と今とでは何の変わりもなかった。障害を受け入れ、充実した生活を送るように見える荒武さんでさえ、ため息まじりになる。

荒武：・・・そうなのか。



● 再生医療に期待する

荒武：少なくとも車いすラグビーをやっている全員が再生医療のニュースを追いかけています。新しいニュースがあれば、僕が調べていなくても、仲間から情報が流れてくるんですよ。

再生医療の動向への関心は強烈だ、荒武さんはこう語る。再生医療可能性の小さな一報への反応は、まるでワールドカップで日本が勝った、負けたと一喜一憂するサポーターと変わらない、それほど激しいものがあるという。再生医療の前向きなニュースがあれば、研究者ガンバレ！病院ガンバレ！！と応援しているわけだ。後ろ向きなニュースがあれば、その落胆ぶりは明らかだろう。

荒武さんたちにとって再生医療の情報は断片的だ。ニュースで知ること、友人からの口伝えや時には噂話として伝わってくる。荒武：僕たちが知っている再生医療の話は…情報の精度が悪いかも知れませんね。人から聞いて話が伝言ゲームのように伝わるのです。

現時点では、医療費が高額になるということが、共通の認識らしい。希望の光を見るように、再生医療を応援する気持ちと、(金銭的に)裏切られかもしれないという不安が同居する。

● 想い願い挑戦する、それでも「治りたい」

冒頭の「お金を使いたい本当の目的がある、だから無駄遣いしない」の意味。その正体は再生医療のための貯金だ。どのくらいのお金が必要かわからない、しかし再生医療実現の時には、治療を受けたい。

治りたいのだ。

そのためには医療費のために貯金したい、収入を増やす、仕事でデスクワークのスキルを磨くのはそのためだ。自由に動ける身体で、将来の家族、妻や子供と遊ぶ自分の姿を想う。身体を動かすこと、それを取り戻すことに、今も荒武さんは想い、願い、そして挑戦している。

意外な言葉を聞くことができた。

「パラスポーツがなくなったらイイですね！」

そう、いつか再生医療が実現し、誰にでも手が届く医療になったとき。パラスポーツが昔話で語られる、そんな時代を夢見ている。

● 今を生きる

再生医療への期待と不安、段差5cm、花が咲き揃うには、まだまだ遠い道のりだ。選手としての活動でさえ、安泰ではない。

荒武：選手として、活動を続けることには、東京パラリンピック代表メンバーでさえ、不安があります。今回のパラリンピックは、地元開催ならではの熱がありました。熱があるからこそ、多くのスポンサーや協力者と一緒に戦うことができました。大会までの練習環境の充実、様々な支援を受け、東京パラリンピックは、選手にとって恵まれた大会だったのです。

次回のパリ・パラリンピックの時に、その熱があるのか。それは誰にもわかりません。

聞きにくい質問もした。車いすラグビーからの引退やアスリート活動をささえる収入が途絶えたらどうするのか。いつも希望と一緒に不安は後からついてくる。

全力を尽くす。

それが荒武さんの答えだ。今、荒武さんは、来年の世界大会出場に向けて全力投球だ。

意地の悪い質問「代表入りを逃したらどうしますか？」に荒武さんは笑顔で返した。

全力で日本を応援しますよ（笑）



荒武さんの軌跡についての連載はこれで終了となりますが、「脊髄損傷と戦う」看護師、医師の奮闘は継続しています。脊髄損傷の患者に向き合う看護師の思い、脊髄損傷に立ち向かう医師の思いは「脊髄損傷と戦う看護師」「頸髄損傷と戦う～iPS細胞移植の可能性を信じて～」としてホームページに掲載されています。<https://www.murayama-hosp.jp/topics/>

外 来 診 療 担 当 医 師

■ 一般外来 ※受付時間 (初診:8時30分~11時まで) 令和4年7月1日現在
再診:8時30分~12時まで

診療科等	月	火	水	木	金	備考		
内科/リウマチ科	片寄	岡田	片寄					
泌尿器科	岡本 (午後)	岡本	岡本		岡本 (午後)			
外科	大石	飯野	大石	飯野	大石			
整形外科	再診	脊椎	竹光 藤吉	谷戸 小林(喜) 松林 市原	古川 梶川 今井	許斐 加藤(貴) 矢内 吉田	松川 大久保 川野	
		関節	清水 小林(洋) 高島		澤近	吉原	笹崎	股・膝関節・下肢
		手	加藤(直)	野村	加藤(直)		加藤(直)	手指・上肢
		肩		白澤 (第4午後)				
		一般						
初診	交替制							
リハビリテーション科	富田	植村	松田		宇内			
歯科	吉武 (第1・3・5週)	吉武 (第2・4週)	吉武	吉武	吉武	予約制		

■ 専門外来 (全て予約のみ)

診療科等	月	火	水	木	金	備考
内科リウマチ				片寄 (13:00~)		予約制
装具外来 (リハビリ科)	リハビリ科医師 (13:00~)					予約制
側弯	許斐 (第1週午後)		古川 (15:30)	矢内(15:00) 許斐(16:00)	大久保 (15:00)	予約制
骨粗鬆症・筋老化					竹光 (第1・2・3・5週 13:00-15:00)	予約制

※循環器科、泌尿器科、皮膚科、精神科については、一般外来を行っていません。

診療について

診療日 月曜日~金曜日(祝日及び年末年始は除く)
診療受付時間 初診の方 午前8時30分~午前11時00分
再診の方 午前8時30分~午前12時00分

※急患は(整形外科) 随時受付けております。

専門外来については医事窓口にてお問合せ下さい。

毎月初めに保険証の提示をお願いします。変更のあった場合はお知らせ下さい。

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1

TEL 042-561-1221(代) FAX 042-564-2210

URL : <http://www.murayama-hosp.jp/>